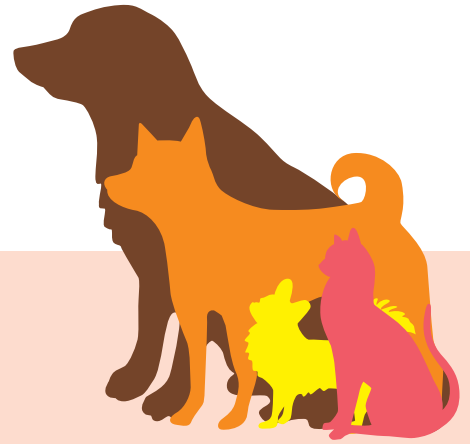




人と動物が幸せに暮らす 社会の実現プロジェクト

このプロジェクトでは、動物の命を大切に、
やさしさあふれる人と動物が共生する社会の実現を目標に、
殺処分を減らし、最終的にはゼロにすることを目指します。
そのため、飼い主・事業者・ボランティア・NPO・行政等が一体となって
取り組みを展開・推進していくことが重要です。



動物は、私たちの生活を様々なかたちで豊かにしてくれ、
時には家族と同じように人間にとってかけがえのない存在です。

無責任な飼い主による飼育放棄や迷子、所有者がいなかったりして、自治体の動物愛護
センターや保健所に引き取られる犬や猫の数は、年間21万頭にものぼり、その8割近くが、
やむを得ず、殺処分されています。

平成24年度 全国の犬・猫の引き取り数



殺処分を減らしていくための対策

飼い主・国民の意識の向上 → 引取り数の大幅な削減 → 引き取った犬猫の返還・譲渡を推進 → 不必要な殺処分を0へ

飼い主・国民の意識の向上



■普及啓発活動や教育活動を通じた 飼い主等の意識の向上

教育活動や広報活動を通じ、飼い主、国民に「犬猫の適正な飼い方や管理」を浸透させ、飼い主責任を徹底する意識等を向上させる

■効果的な広報、普及啓発、 教育の場における展開

引取り数の削減



■無責任な飼い主をなくす

飼い主責任(適正な飼養管理、終生飼養等)の徹底、安易な購入・飼養の防止、遺棄の防止

■飼い主のいない犬猫の対策の推進

室内飼育・不妊去勢措置の徹底(特に猫)、無秩序な餌やりの防止(不幸な命を増やさない)、地域猫対策の推進、幼齢な犬猫の適正な取扱いの推進

返還と適正譲渡の推進



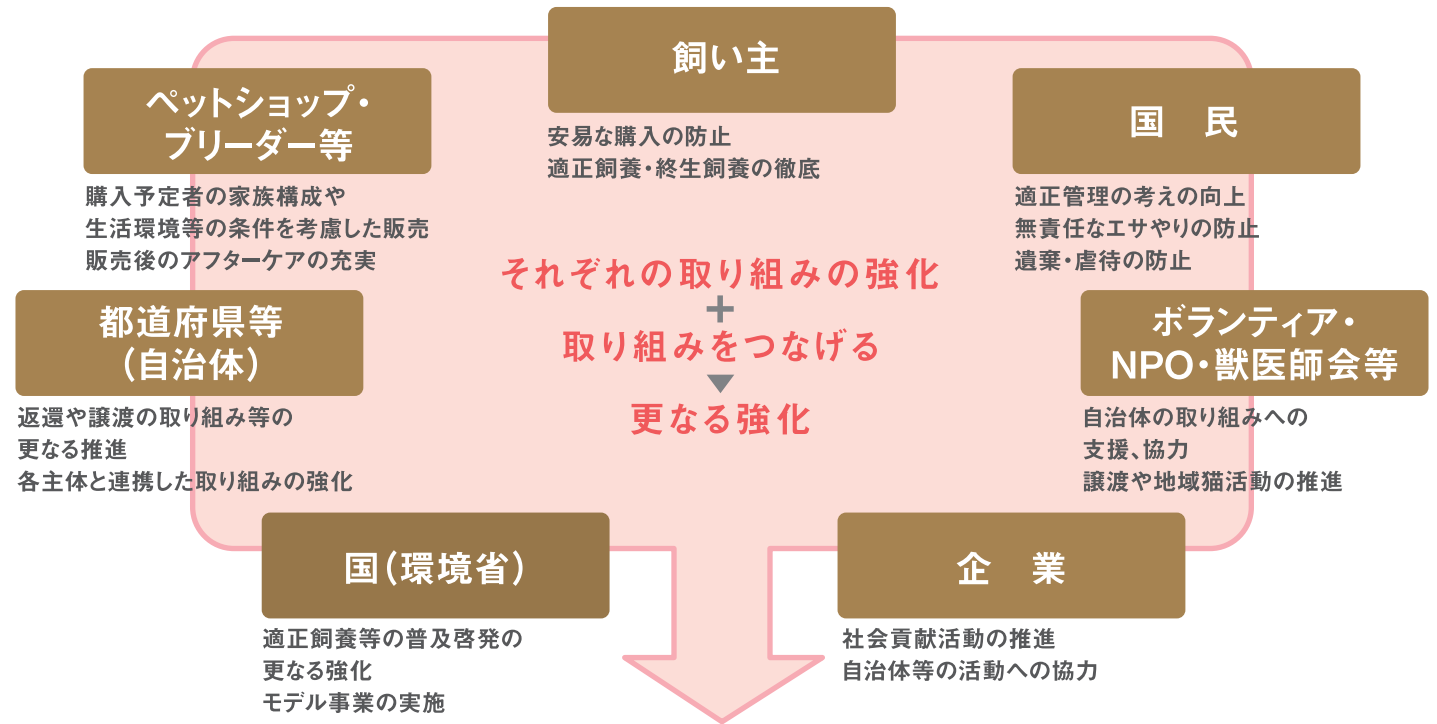
■引き取った犬猫の所有者(飼い主等) への返還と適正な譲渡の推進

所有明示の徹底による確実な返還、ボランティアとの連携による譲渡、自治体の管轄区域を越える広域的な譲渡の推進

殺処分ゼロに向けて検討すべき事項(抜粋)

マイクロチップの義務化、飼育の登録制、老犬猫への支援、第一種動物取扱業(ペットショップ・ブリーダー等)の登録条件の厳格化等

各主体に取り組んで欲しい主なアクション
みなさんで一体となって取り組みを推進していきましょう!



プロジェクトを推進していただくことで、殺処分を減らしていくことができます。

ペットを飼う前に



家族で話しましょう

ペットを飼う前に十分家族で話し合い、考えましょう。また、そのペットについて学び、準備をしておきましょう。



自治体からの譲渡も考えてみましょう

ペットを入手する選択肢のひとつとして自治体等からの譲渡(保護犬・猫)を検討しましょう。



しっかり説明を受けましょう

飼うペットを自分の目でしっかりと確認し、販売業者から、その動物の病歴や飼い方、寿命や不妊去勢手術についての説明を受けましょう。



飼わないという選択肢もあります

最期まで飼う自信と覚悟がなければ、飼わないことが正しい選択です。

ペットを飼い始めたら



最期まで責任を持とう

健康管理に注意し、ルールやマナーを守り、ペットがその命を終えるまで、責任を持って適切に飼いましょう。



逸走防止に努めよう

ペットが迷子にならないよう、外出する時は必ずリードやケージを使いましょう。また、扉の閉め忘れ等の確認も重要です。



連絡先を明示しよう

ペットの飼い主が分かるように、マイクロチップの装着や飼い主の名前・連絡先を明記し、首輪などにつけておきましょう。



むやみな繁殖を抑えよう

適切に飼うことのできる数を保つことは飼い主の責任です。必要に応じて不妊去勢手術などの繁殖制限措置を行いましょう。

その他みなさんに守っていただきたいこと

無責任な餌やりは行わない

かわいそうだからと、所有者のいない猫に無責任に餌をやることで、不幸な命を生み出すこともあります。



猫は室内で

猫は室内で飼いましょう。交通事故や感染症など、外の世界には危険がいっぱい。また、思いがけない繁殖にもつながります。

